

活動を通しての成長

活動先：NPO法人 ぱお

1. はじめに

私は今回のサービスマーケティングでは、半田市にある不登校やひきこもりの子どもを支援しているNPO法人「ぱお」で活動させてもらった。

NPO法人ぱおでは、子どもたち一人一人の「自分にはなにが出来るんだろう。」「何がしたいんだろう。」という声に向き合い、やりたいことを見つけ、チャレンジしていけるようなサポートをしている。だから私たちは、「子どもたちに達成感を感じてもらおう。」という目標を立て、活動に参加しました。そしてこの活動で子どもたちをサポートしていく中で難しい部分もあったけれど、自分自身が成長できたし、NPOの問題点も少しずつ見えてきた。

2. 活動を通して

この活動に参加したメンバー全体での大きな目標は「子どもたちに達成感を感じてもらおう。」というものだけれど、自分自身では、子どもの気持ちを考えてコミュにケーションをとれるようになり仲良くなる。という目標を立てた。

ワンデイシェフという活動で小さな喫茶店のような場所を貸し切って、一日シェフ体験を行うことがあったのだが、このワンデイシェフでは、いつもより子どもたちも多く来てくれて、小さな空間で一日中作業することになった。だから子どもたちともたくさん触れ合うことができ、その中で自分自身の目標としていた、子どもの気持ちを考えてコミュにケーションをとれるようになり仲良くなる。ということも少しずつできるようになってきたと思う。また、このワンデイシェフでは調理から盛り付け、会計までをすべて自分たちだけで行うことが出来たので、子どもたちに達成感を感じてもらうことができたと思う。そして、私たちがこのワンデイシェフ活動をサポート出来たことで、メンバー全体での「子どもたちに達成感を感じてもらおう。」という目標も、達成できたのではないかと思う。

他の活動ではNPO法人ぱおの中で遊んだり、グラウンドでスポーツをしたりしたのだが、ぱおの中では、急にテレビゲームをはじめてしまう子がいてたいへんだった。やっていることがテレビゲームだったので話を合わせることはできたのだが、どのように対応しているのかがわからなかった。他にも、ほとんど口をきいてくれない子もいて、どうやってコミュニケーションをとればいいのかすごく悩んだ。でもあとで行ったプールでは、その子どももはしゃいでいたので、ちゃんと遊ぶことができ、仲良くなれたと思う。

そして、やはり不登校、ひきこもりの子どもといっても、さまざまに普通に明るくしゃべる子もいれば、どうしても自己表現が出来ない子どももいるということがこの活動を通して、学ぶことが出来た。

また、ぱおには、ぱおのOB・OGの子どもたちも来ていたのだが、いまではみんな元気

に学校に行っているということを聞いた。だからこのばおでの活動を通すことによって不登校やひきこもりがなおっていく子どももたくさんいるのだな、ということがわかった。こういった不登校、ひきこもり支援をしている NPO はあまり多くはないので、大切だと思った。

3. 問題点

この活動をして NPO の問題点もわかってきた。それは運営の問題だ。ばおは介護保険や障害者自立法のような一定のお金を収入にして活動を行っているわけではなく、子どもたちの利用料で収入を得ている。しかし不登校やひきこもりの子どもたちはこのばおというフリースペースから、いずれ出て行ってしまう。ばおから出て行き、学校に戻ることはいいことだが、ばおの運営をかんがえると、収入がなくなってしまうので、大変になってしまう。また今ばおは半田市市民参画支援センターの一角を借りて運営しているが数年後には移動してどこかに移らなければならないと聞いた。ここで NPO の運営できる場所の問題もでてくる。

4. まとめ

今回サービスラーニングでは NPO 法人ばおで活動させてもらったが、子どもたちとのコミュニケーションは難しいもので簡単にはいかないということが分かった。でも、相手の気持ちを考えて触れ合うことでちゃんと仲よくなれたのでよかったと思う。また「子どもたちに達成感を感じてもらおう。」という目標も達成できたと思うのでよかった。NPO の問題点は解決する方法は簡単にはでてこないなので、どうすればいいのか自分たちも考えていけたら思った。